

1 題材設定の理由

(1) 活動内容・項目

☆主たる内容・項目

〈(3) 学業生活の充実、将来の生き方、進路の適切な選択に関すること〉

- 主体的な進路の選択と将来設計

★関連する内容・項目

〈(2)ア 個人及び社会の一員としての在り方に関すること〉

- 自己及び他者の個性の理解と尊重

〈(3) 学業生活の充実、将来の生き方、進路の適切な選択に関すること〉

- 望ましい職業観・勤労観の形成

(2) 題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

中学3年生にとって、2月は進路が決まった生徒とこれから入試に臨む生徒が混在し、学級が2つの集団に分かれているような雰囲気が漂いやすい時期である。気の緩みから逸脱行為を起したり、不安や焦りから衝動的な行動に走ったりする生徒が出てくることもある。特に自律心や自己肯定感などが十分に育っていない生徒は、情報産業の急激な発展に便乗して拡大した出会い系サイトなどの誘惑に引き寄せられやすいのが否めない。また、将来の自分のイメージをもてないまま合格できそうな高校を受験し、入学後進路変更をする生徒も毎年かなりの数に上っている。

中学校卒業を間近にひかえた時期に、一人一人の生徒が「なりたい自分」についてイメージすることは、自己を肯定的に捉えるとともに「今の自分にできること」について考えることにつながり、中学校生活を締めくくる時期の活動として必要かつ有意義なことである。

(3) 指導法・指導上の留意点

ロールレタリング(※1)の理論と手法を用いて進める。

授業の実施にあたっては、事前指導で「25歳の自分からの手紙」を書いて来るように指示することにより、生徒が自分の夢や希望を明確にするとともに、現在の自分自身を客観的に見つめることができるようにする。授業では、「25歳の自分からの手紙」をグループ内で読み合い、互いに励ましのメッセージを交換することにより、その後の活動の意欲や向上心、自己肯定感を高めることができるよう配慮する。

※1 今の自分とは異なる立場にいることを想定して手紙を書くこと。ふだんの自分にはできない表現や気付きを引き出し、客観的に自分を振り返ることができる。

2 指導目標

- (1) 将来の自分から今の自分に励ましの手紙を書くことにより、将来の目標を明確にするとともに、その夢の実現に向けて明るく努力しようとする気持ちを高める。
- (2) 夢や希望を紹介し合うことにより、他者理解を深め、互いに支え合おうとする気持ちを高める。

3 指導計画

(1) 事前・事後指導

〈事前指導〉一短学活；将来の「なりたい自分」から今の自分への励ましの手紙「25歳の自分からの手紙」を書いてくるよう伝える。

《本 時》一授 業；「未来の自分からのメッセージ」を実施し、「長期的な目標の達成のために今やるべきこと」について、客観的に気付きを促す。

〈事後指導〉一短学活；日常の自己の言動を振り返らせ、また「なりたい自分」を想起させることにより、よりよく中学校生活を締めくくることができるようにする。

(2) 教科指導等との関連

〈各教科〉；学ぶことの意義についての考えを深める。

〈道徳〉；自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

5 プログラムの展開例

- ◆ 活動場所；教室
- ◆ 準備物；ワークシート「25歳の自分からの手紙」、振り返り用紙

□ 導入（10分）

1 ウォーミングアップ

- (1) 「じゃんけんゲーム」…… 緊張をほぐし、意見や感想を発表しやすい雰囲気を作る。

2 本時のねらいの確認

- (1) 教師の話聞き、将来の自分の姿や生活の様子についてのイメージを膨らませる。

先生が中学3年生だったとき、今頃は、推薦で高校合格が内定していたんだけど、実のところは、将来の夢は漠然としていて……。



□ 展開（30分）

3 グループ活動

- (1) グループ内で、それぞれの「25歳の自分からの手紙」を読み合い、互いに励ましのメッセージを書く。



A子さんなら、必ず夢を実現できるよ。
Hold your dream!

- (2) 友だちからの励ましのメッセージを読んだ感想発表



オレ、みんなの期待に応えて、スターになるからさ、待っててくれよな。

B男くん、また、みんなを笑わせて……

B男って面白いから、本当にお笑い芸人になれちゃうかも……



4 全体での振り返り

- (1) 各グループの代表者による発表



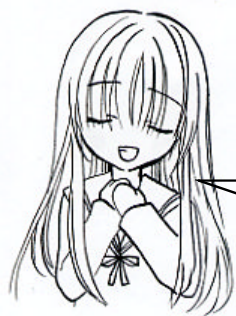
私たちの班では、「これって励まされてるのかな」って思うようなメッセージもあったのですが、私は「A子さんなら、きっと夢を実現できるよ」って書いてもらえたので、とてもうれしかったです。

友だちに励まされたら、なんだか不思議と「よし、頑張るぞ」っていう気持ちになってきました。

□ まとめ [10分]

5 振り返り

(1) 本時の感想の発表



みんなの夢を聞いて励ましたり、励まされたりして、「うちのクラスって、本当にいいクラスだな」って思いました。高校生になってからも、「私らしい私」でいこうって決めました。

(2) 振り返り用紙（別紙）を用いての自分の気持ちや気づきの整理

(3) 教師の感想を聴く

6 生徒の反応（振り返り用紙から）

- これからでも遅くはない。夢をもってその夢をかなえられるように、今からしっかりがんばって勉強しようと思う。
- 今、頑張れば、楽しい未来があるからFight♥ 今が頑張りどきだああ!!
- 自分は自分らしく生きてこそ輝けるんだと思う。泣きたいときには泣き、笑いたいときには笑う。中途半端はいけない。自分が「これだ!」と思ったことをがんばり続けることが大切なんだと思う。
- 自分に自信をもって生きていこうと思う。過ぎ去ってしまった日々は二度と戻っては来ないので、1秒1秒、1日1日を大切に過ごしていきたい。○○（父親の名前）の娘として、夢に向かって一生懸命に生きる。
- 中3の自分がしなくてはならないこと、それはまっすぐ前を見て歩くこと。とにかく今を楽しむ。一声入魂。We are ROCKERS! It's My Life!
- いつも感謝の気持ちを忘れずに、自分を支えてくれている周りの人たちを大切に、素直に、周りに流されずに、自分を信じて、自分にしかできない生き方をする。
- これからも勉強や友だちのことで悩んだりすることがいっぱいあると思うけど、いっぱい悩みながらもよく考えて行動していきたい。いつも謙虚な心を忘れずに、これからの進路に向けて、とにかくがんばっていききたい。凛として謙虚に生キル! Love Music!!
- A子さんはちゃんと夢を持っていてすごいなあ、かっこいいと思った。とにかく感動した。自分も、自分の夢をはっきりと言えるようになりたい。

7 授業者・参観者の感想（授業改善の視点から）

- この授業は、養護教諭とのTTで展開した「生を考える性の学習（計4時間扱い）」（第1時「中学生の男女交際の在り方」、第二時「エイズ・性感染症の問題」、第三時「将来どう生きるか」）のまとめの授業として実施した。系統的・計画的な実践により、生徒の気づきがより深まった。
- 「25歳の自分からの手紙」を書き、それを紹介しあうことによって、生徒たちは「これからは自分の夢や希望、意思を大切に生きていこう」という確かな思いをもてるようになった。
- 「友だちからの励ましのメッセージ」は、実際の授業では回し読みした最後の生徒が書くようにしたため、1人の生徒からしかメッセージをもらうことができなかった。グループで回し読みしているときに、そのつど書くようにすれば複数のメッセージをもらえるようになるのではないか。また、「感動した!」「がんばれ!」のような一言メッセージでもよいことを伝えておくと、文章表現の苦手な生徒も安心して活動に取り組めるのではないか。
- 授業後、「わが子への励ましのメッセージ」を保護者に書いていただいたが、協力いただいたのは2割程度であった。様々な価値観を持っている保護者に、わが子を温かく見守ることの大切さ、幸福感を伝えていくことも、教師の大切な仕事であると感じた。

8 関連プログラム・参考文献等

◇ 関連プログラム

- ・「人間関係をつくる力を育てる指導援助プログラム（小・中・高等学校編）」

福島県教育センター教育相談チーム編

◇ 参考文献

- ・「ロールレタリングの理論と実際」

杉田峰康監修

春口徳雄編集

チーム医療

